

環境教育揭示用教材 指導資料

環境教育揭示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私達を取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

本指導資料では、環境教育揭示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育揭示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

環境保全でSDGs（持続可能な開発目標）を実現しよう

① 表題



② ねらい

世界が取り組むSDGsについて知り、その目標は、環境問題だけではなく複数の問題解決を目指していることを理解する。また、人間社会の活動や暮らし方を考え、環境保全に向けた実践を行おうとする態度を育成する。

③ 環境教育で対象とする主な内容 (ESDの構成概念)

資源の循環（相互性）、生態系の保全（相互性・責任性）、資源の有限性（有限性）、エネルギーの利用（多様性・相互性・有限性・責任性）
 ※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④ 主なSDGsとの関連

【SDGs7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに、【SDGs12】 つくる責任つかう責任、【SDGs13】 気候変動に具体的な対策を、【SDGs14】 海の豊かさを守ろう、【SDGs15】 陸の豊かさを守ろう

⑤ 主な活動

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆揭示用教材等との関連
○揭示用教材①を見て、SDGsの意味と、17の国際目標があることを知る。 ○揭示用教材②を見て、SDGsのキーワードを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">環境保全でSDGsを実現しよう</div> ○揭示用教材③を見て、わたしたちの暮らし方と地球環境について、個人やグループで調べ、学級全体で話し合う。 ○揭示用教材④を基に、世界的に広がる環境活動について考える。 ○揭示用教材⑤を参考に、日本での取組について考える。 ○揭示用教材⑥を参考に、SDGsを達成するために自分にできることを考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇SDGsは、英語のSustainable Development Goals（サステイナブルディベロップメントゴールズ）の略であることを伝える。 ◇SDGsは、2030年までに、よりよい世界を目指すための国際目標であることを理解させる。 ◇SDGsは、環境問題だけではなく複数の問題解決を目指していることを理解させる。 ◇イラストを参考に、地球に大きな影響を与えている環境問題と、わたしたちの暮らし方の関係を理解させる。 ◇国際的な環境活動が、若い人たちからも広がっていることについて考えさせる。 ◇日本でのSDGsの行動につながる取組を理解させる。 ◇イラストを参考に、自分にできる取組を考えさせる。 ◇生徒一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要があることに気付くよう、活動を振り返らせる。	◆揭示用教材① ◆ワークシート① ◆環境教育指導資料 P10～ ◆環境教育指導資料 P98～ ◆揭示用教材② ◆揭示用教材③ ◆ワークシート② ◆揭示用教材④ ◆環境教育指導資料 P80～ ◆揭示用教材⑤ ◆揭示用教材⑥ ◆ワークシート③

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。

※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本揭示用教材のイラストや図表等を公開しています。



かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

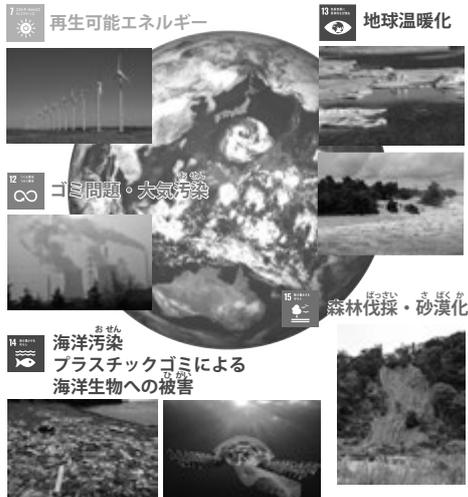
かんきょう 環境保全で SDGs (持続可能な開発目標) を実現しよう

年 組 名前

① SDGs について理解しよう



② SDGs 「暮らしと地球環境」 かんきょう について調べてみよう



③ 目標達成のために、必要な取組を考えてみよう

